

地域連携推進会議

開催日時	令和 7年 5月 22日（木曜日） 14時00分～ 14時30分
開催場所	スマイル田喜野井6番館
会議参加者	・(基幹)A B C ・(利用者) D ・(利用者家族) E ・(近隣住民)F G ・(職員)H I J K 計10名
グループホーム見学	交流室中心に内部の設備、居住用の部屋、外観を見学
事業所からの報告	パワーポイント資料にてグループホームの役割、構成、法人概要、地域連携、今後の取組を説明
会議内容	14：00～14：10 グループホーム内の設備・部屋紹介 14：10～14：25 参加者紹介・代表経歴・グループホームを作る動機 グループホームで行っていること等の説明 14：25～14：35 質疑応答
会議での意見・要望	・1敷地内に複数の居室があり利用者数も多いため、災害時や緊急時の安否確認・避難誘導を確実にできる体制が必要ではないか。 ・住宅が密集している地域のため、職員車両の出入りや駐車時には近隣への配慮を続けてほしい。 ・支援量の多い利用者がいるため、職員間で支援方法を統一し、落ち着いた生活環境を維持してほしい。
構成員からの助言	・利用者数が多いホームでは、緊急時の役割分担と連絡体制を平時から明確にしておくといよい。 ・車両の出入りについては、時間帯・停車位置・アイドリング等に配慮し、近隣との関係を継続的に築くことが重要。 ・支援負担が一部職員に偏らないよう、個別支援の共有とケース検討を継続するとよい。
今後改善するところ	・災害時の安否確認、避難誘導、職員の役割分担をホーム内で再確認し、訓練に反映する。 ・職員車両の出入りについて近隣に配慮した運用ルールを再周知する。 ・支援量の多い利用者について、対応方法・注意点を職員間で定期的に共有し、支援の統一を図る。
意見・感想	グループホーム近隣の方に参加していただいた事で、お互いの顔がわかり何かあった際に連携を取りやすくなる感じた。 近隣の方にとっても今回のような説明を行うことによって、グループホームへの理解が深まり安心に繋がるのではないかと思います。

地域連携推進会議

開催日時	令和 7年 12月 10日（水曜日） 14時00分～ 14時30分
開催場所	スマイル幕張本郷8番館
会議参加者	・(利用者) A ・(利用者家族) 父 B ・(近隣住民) C ・(職員) D E F G 計7名
グループホーム見学	交流室中心に内部の設備、居住用の部屋、外観を見学
事業所からの報告	パワーポイント資料にてグループホームの役割、構成、法人概要、地域連携、今後の取組を説明
会議内容	14：00～14：10 グループホーム内の設備・部屋紹介 14：10～14：25 参加者紹介・代表経歴・グループホームを作る動機 グループホームで行っていること等の説明 14：25～14：35 質疑応答
会議での意見・要望	・1敷地内に複数の居室があり利用者数も多いため、災害時や緊急時の安否確認・避難誘導を確実にできる体制が必要ではないか。 ・住宅が密集している地域のため、職員車両の出入りや駐車時には近隣への配慮を続けてほしい。 ・支援量の多い利用者がいるため、職員間で支援方法を統一し、落ち着いた生活環境を維持してほしい。
構成員からの助言	・利用者数が多いホームでは、緊急時の役割分担と連絡体制を平時から明確にしておくといよい。 ・車両の出入りについては、時間帯・停車位置・アイドリング等に配慮し、近隣との関係を継続的に築くことが重要。 ・支援負担が一部職員に偏らないよう、個別支援の共有とケース検討を継続するとよい。
今後改善するところ	・災害時の安否確認、避難誘導、職員の役割分担をホーム内で再確認し、訓練に反映する。 ・職員車両の出入りについて近隣に配慮した運用ルールを再周知する。 ・支援量の多い利用者について、対応方法・注意点を職員間で定期的に共有し、支援の統一を図る。
意見・感想	グループホーム内のテナントの方に参加していただいた事で、お互いの顔がわかり何かあった際に連携を取りやすくなったと感じた。 ご家族や近隣の方にとっても今回のような説明を行うことによって、グループホームへの理解が深まり安心に繋がるのではないかと思います。

地域連携推進会議

開催日時	令和 7年 12月 20日（土曜日） 14時00 分～ 14時30分
開催場所	スマイル大和田7番館
会議参加者	・(利用者) A (利用者家族)・母 B ・(近隣住民) C ・(職員)D E F G 計7名
グループホーム見学	交流室中心に内部の設備、外観を見学
事業所からの報告	パワーポイント資料にてグループホームの役割、構成、法人概要、地域連携、今後の取組を説明
会議内容	14：00～14：10 グループホーム内の設備・部屋紹介 14：10～14：25 参加者紹介・代表経歴・グループホームを作る動機 グループホームで行っていること等の説明 14：25～14：35 質疑応答
会議での意見・要望	・1敷地内に複数の居室があり利用者数も多いため、災害時や緊急時の安否確認・避難誘導を確実にできる体制が必要ではないか。 ・住宅が密集している地域のため、職員車両の出入りや駐車時には近隣への配慮を続けてほしい。 ・支援量の多い利用者がいるため、職員間で支援方法を統一し、落ち着いた生活環境を維持してほしい。
構成員からの助言	・緊急時の役割分担と連絡体制を平時から明確にしておくとうい。 ・支援負担が一部職員に偏らないよう、個別支援の共有とケース検討を継続するとよい。
今後改善するところ	・災害時の安否確認、避難誘導、職員の役割分担をホーム内で再確認し、訓練に反映する。 ・支援量の多い利用者について、対応方法・注意点を職員間で定期的に共有し、支援の統一を図る。
意見・感想	グループホーム近隣の方に参加していただいた事で、お互いの顔がわかり何かあった際に連携を取りやすくなる感じた。 近隣の方にとっても今回のような説明を行うことによって、グループホームへの理解が深まり安心に繋がるのではないかと思います。

地域連携推進会議

開催日時	令和 8年 1月 24日（土曜日） 14時00分～ 14時30分
開催場所	スマイル八千代中央13番館
会議参加者	・(利用者)A ・(利用者家族) B ・(近隣住民) C ・(福祉知見者) D ・(職員)E F G H 計8名
グループホーム見学	交流室中心に内部の設備、居住用の部屋、外観を見学
事業所からの報告	パワーポイント資料にてグループホームの役割、構成、法人概要、地域連携、今後の取組を説明
会議内容	14：00～14：10 グループホーム内の設備・部屋紹介 14：10～14：25 参加者紹介・代表経歴・グループホームを作る動機 グループホームで行っていること等の説明 14：25～14：35 質疑応答
会議での意見・要望	・1敷地内に複数の居室があり利用者数も多いため、災害時や緊急時の安否確認・避難誘導を確実にできる体制が必要ではないか。 ・住宅が密集している地域のため、職員車両の出入りや駐車時には近隣への配慮を続けてほしい。 ・支援量の多い利用者がいるため、職員間で支援方法を統一し、落ち着いた生活環境を維持してほしい。
構成員からの助言	・利用者数が多いホームでは、緊急時の役割分担と連絡体制を平時から明確にしておくといよい。 ・車両の出入りについては、時間帯・停車位置・アイドリング等に配慮し、近隣との関係を継続的に築くことが重要。 ・支援負担が一部職員に偏らないよう、個別支援の共有とケース検討を継続するとよい。
今後改善するところ	・災害時の安否確認、避難誘導、職員の役割分担をホーム内で再確認し、訓練に反映する。 ・職員車両の出入りについて近隣に配慮した運用ルールを再周知する。 ・支援量の多い利用者について、対応方法・注意点を職員間で定期的に共有し、支援の統一を図る。
意見・感想	グループホーム近隣の方に参加していただいた事で、お互いの顔がわかり何かあった際に連携を取りやすくなる感じた。 近隣の方にとっても今回のような説明を行うことによって、グループホームへの理解が深まり安心に繋がるのではないかと思います。

地域連携推進会議

開催日時	令和 8年 1月 21日（水曜日） 14時00分～ 14時30分
開催場所	スマイル西千葉 1 1 番館
会議参加者	・(利用者) A ・(利用者家族) 父 B ・(近隣住民)C ・(職員)D E F G 計7名
グループホーム見学	交流室中心に内部の設備、居住用の部屋、外観を見学
事業所からの報告	パワーポイント資料にてグループホームの役割、構成、法人概要、地域連携、今後の取組を説明
会議内容	14：00～14：10 グループホーム内の設備・部屋紹介 14：10～14：25 参加者紹介・代表経歴・グループホームを作る動機 グループホームで行っていること等の説明 14：25～14：35 質疑応答
会議での意見・要望	・1敷地内に複数の居室があり利用者数も多いため、災害時や緊急時の安否確認・避難誘導を確実にできる体制が必要ではないか。 ・住宅が密集している地域のため、職員車両の出入りや駐車時には近隣への配慮を続けてほしい。 ・支援量の多い利用者がいるため、職員間で支援方法を統一し、落ち着いた生活環境を維持してほしい。
構成員からの助言	・利用者数が多いホームでは、緊急時の役割分担と連絡体制を平時から明確にしておくといよい。 ・車両の出入りについては、時間帯・停車位置・アイドリング等に配慮し、近隣との関係を継続的に築くことが重要。 ・支援負担が一部職員に偏らないよう、個別支援の共有とケース検討を継続するとよい。
今後改善するところ	・災害時の安否確認、避難誘導、職員の役割分担をホーム内で再確認し、訓練に反映する。 ・職員車両の出入りについて近隣に配慮した運用ルールを再周知する。 ・支援量の多い利用者について、対応方法・注意点を職員間で定期的に共有し、支援の統一を図る。
意見・感想	グループホーム近隣の方に参加していただいた事で、お互いの顔がわかり何かあった際に連携を取りやすくなる感じた。 近隣の方にとっても今回のような説明を行うことによって、グループホームへの理解が深まり安心に繋がるのではないかと思います。